### 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名_			目目	<b>泛長名</b>	Ŧ :	530-0051	所在地					
大原医療福祉製菓車 田校	原倫征衆果等門子校傅											
設置者名	設置者名 設立認可年月日 代表者名 所在地											
学校法人大原	学園	昭和54年4月	1日 中本	ち 毎彦	(住所)	東京都千代田区西神	田1丁目1番3号					
分野	137 D4	忍定課程名	認定学科	名		03-3292-6266  士認定年度	高度専門士認定	[年度	職業実践専	專門課程認定年度		
衛生	衛	生専門課程	製菓学科	枓	平成	17(2005)年度	-		9(2017)年度			
学科の目的			教育法及び「社会福祉 D陶冶を行い、もって有				定のもと、医療・福祉並	はびにこれらの	のビジネスに	関する教育、衛生		
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	製菓衛生師 中退率:9.1	「、サービス接遇実務 %(令和6年5月1日時	検定 f点における在学者334	名、令和6年3月	31日時点に	おける在学者30名)						
修業年限	昼夜		な総授業時数又は総 立数	講事	<b></b>	演習	実習	実態	ф	実技		
2	昼間	※単位時間、単位いずれ	1,700 単位時間	480	単位時間	0 単位時間	1,440 単位時間	0 単	单位時間	0 単位時間		
年		かに記入	単位		単位	単位	単位	単	単位	単位		
生徒総定員	生徒実	至員(A) 留学生	数 (生徒実員の内数)(B)	留学生割·	合(B/A)	中退率						
40 人	29	Д.	1人	0	%	9 %						
	■卒業者数 ■就職希望		17 14	•	<del>-</del>							
	■就職者對		14		<del>삿 -</del>							
	■地元就耶 ■就職率		9 100		人 %							
		(L/D) こ占める地元就職者(	D割合(F/E)									
	■卒業者に	こ占める就職者の割合	64 1 (E/C)		%							
	■進学者数		82		%							
就職等の状況	■進子有領	**	U									
	特になし											
	1910.60											
	(令和		に関する令和7年5月	1日時点の情報	ł)							
	■土な駅車 (令和6年度2	哉先、業界等 <sup>杰業生)</sup>										
		ー、菓子製造メーカ・	ー、ホテル等									
	■民間の意	証価機関生かに第二	· 老証価 ·			<del></del>						
第三者による		評価機関等から第三、例えば以下について任				無						
第三者による 学校評価	※有の場合、	、例えば以下について任		受審年目:		評	価結果を掲載した					
学校評価	※有の場合、			受審年月:		評	価結果を掲載した ームページURL					
	※有の場合、	、例えば以下について任 評価団体:	意記載		eika/	評						
学校評価  当該学科の	※有の場合、	、例えば以下について任 評価団体:			seika/	評						
学校評価  当該学科の ホームページ	※有の場合、 https://wv	、例えば以下について任 評価団体:	意記載		eeika/	評						
学校評価  当該学科の ホームページ	※有の場合、 https://ww	例えば以下について任 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sen 時間による算定) 総授業時数	意記載 mon/school/umeda_i	ryo/course/s		評		1,700 貞				
学校評価  当該学科の ホームページ	※有の場合、 https://ww	例えば以下について任 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sen 時間による算定) 総授業時数 うち企業等	意記載 mon/school/umeda_i 等と連携した実験・実習	ryo/course/s 習・実技の授業		評		140 単	単位時間			
学校評価  当該学科の ホームページ	※有の場合、 https://ww	例えば以下について任 評価団体: ww.o-hara.ac.jp/sen 時間による算定) 総授業時数 うち企業等 うち企業等	意記載 mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習を連携した演習の授援	ryo/course/s 習・実技の授業		評		140 単	単位時間			
学校評価  当該学科の ホームページ	※有の場合、 https://ww	例えば以下について任   評価団体 :	意記載 mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習を連携した演習の授業 要素時数	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数	時数	評水		140 単 0 単 1,700 単	単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価  当該学科の ホームページ	※有の場合、 https://ww	例えば以下について任   評価団体 :	意記載 mon/school/umeda_i  pe と連携した実験・実習を連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 c必修の実験・	   実習・実技の	評水		140 单 0 单 1,700 单 140 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価  当該学科の ホームページ	※有の場合、 https://ww	例えば以下について任   評価団体:   ww.o-hara.ac.jp/sen   時間による算定)   総授業時数   うち企業等   うち必修担	意記載 mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習 pと連携した演習の授製 要業時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	時数 実習・実技 <i>G</i> 授業時数	評水		140 单 0 单 1,700 单 140 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価 当該学科の ホームページ URL	※有の場合、 iii https://ww	例えば以下について任   評価団体:   ww.o-hara.ac.jp/sen   時間による算定)   総授業時数   うち企業等   うち必修担	意記載 mon/school/umeda_i  pe と連携した実験・実習を連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	時数 実習・実技 <i>G</i> 授業時数	評水		140 单 0 单 1,700 单 140 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した深いできる。	※有の場合、 iii https://ww (A:単位	例えば以下について任   評価団体 :	意記載 mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習 pと連携した演習の授製 要業時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	時数 実習・実技 <i>G</i> 授業時数	評水		140 单 0 单 1,700 单 140 单	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価  当該学科の ホームページ URL  企業等と連携した 実習等の実施状況	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任   評価団体:   ww.o-hara.ac.jp/sen   時間による算定)   総授業時数   うち企業等   うち必修担	意記載 mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習 pと連携した演習の授製 要業時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の	時数 実習・実技 <i>G</i> 授業時数	評水		140 单 0 单 1,700 单 140 单 0 单	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等をと連携した による、Bいずれか	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen 時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等 うち企業等 うち必修計</li> <li>(うち企具)</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> </ul>	意記載 mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習 pと連携した演習の授製 要業時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 こ必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの授	時数 実習・実技 <i>G</i> 授業時数 業時数)	評水		140 à 0 à 1,700 à 140 à 0 à 80 à	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等をと連携した による、Bいずれか	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.acjp/sen 時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等 うち必修計</li> <li>(うち企ま)</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> </ul>	意記載 mon/school/umeda_i  peと連携した実験・実習を連携した演習の授乳 要素時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター	ryo/course/s  留・実技の授業  業時数  と必修の実験・ と必修の演習の ーンシップの授	時数 実習・実技 <i>G</i> 授業時数 業時数)	評水		140 ii 0 ii 1,700 ii 140 ii 0 ii 80 ii	单位時間 单位時間 单位時間 单位時間 单位時間			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した深等の実施状況	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.acjp/sen 時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等 うち必修計</li> <li>(うち企ま)</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習を連携した演習の授助 要業時数  うち企業等と連携したインター  な等と連携した大変習の単作 を等と連携した演習の単作	ryo/course/s  留・実技の授業  業時数  と必修の実験・ と必修の演習の ーンシップの授	時数 実習・実技 <i>G</i> 授業時数 業時数)	評水		140 单 0 单 1.700 单 140 单 80 单	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した深等の実施状況	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen</li> <li>時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修計</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習を連携した演習の授助 要業時数  うち企業等と連携したインター  な等と連携した大変習の単作 を等と連携した演習の単作	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 に必修の実験・ こ必修の演習の ーンシップの授 習・実技の単位 立数	実習・実技( 実習・実技の 授業時数 業時数) 数	D授業時数		140 al 0 al 1,700 al 140 al 0 al 80 al al al	单位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した深等の実施状況	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen</li> <li>時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修計</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  peと連携した実験・実験を連携した演習の授  要素時数  うち企業等と連携した  うち企業等と連携した  すと連携した大変習の単位  は位数	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 と必修の実験・ と必修の演習の ーンシップの授 習・実技の単位 立数	実習・実技の 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の	D授業時数		140 al 1,700	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位			
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等をと連携した による、Bいずれか	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen</li> <li>時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修計</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修事</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習を連携した演習の授助 要業時数 うち企業等と連携したインター ま等と連携した大演習の単位 位数 うち企業等と連携した演習の単位	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 と必修の実験・ と必修の演習の ーンシップの授 の で必修の実験・ で必修の実験・ で必修の実験・ で必修の演習の	実習・実技の 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の 単位数	D授業時数		140 al 1,700	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間			
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等をと連携した による、Bいずれか	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen</li> <li>時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修計</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修事</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  pe と連携した実験・実習を連携した演習の授助 要業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した な等と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した	ryo/course/s 習・実技の授業 業時数 と必修の実験・ と必修の演習の ーンシップの授 の で必修の実験・ で必修の実験・ で必修の実験・ で必修の演習の	実習・実技の 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の 単位数	D授業時数		140 al 1,700	単位時間 単単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した深くの名、Bいずれか	<ul><li>※有の場合、</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen</li> <li>時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修計</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  pと連携した実験・実習を連携した演習の授業 要時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター  を答と連携した演習の単位 位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した	ryo/course/s  留・実技の授業  素時数  こ必修の実験・ こ必修の演習の 一ンシップの授  企必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の実験・ こ必修の演習の 一ンシップの単	実習・実技の 実習・実技の 授業時数 業時数) 数 実習・実技の 単位数	D授業時数		140 al 1,700	単位時間 単単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位			
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等をと連携した による、Bいずれか	※有の場合。 https://ww (A:単位 (B:単位	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen</li> <li>時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修計</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うちの修り</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  pe と連携した実験・実習を連携した演習の授到 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した を等と連携した演習の単位 位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携した な学と連携したインター はな数  まる企業等と連携した ま等と連携した な学と連携したインター	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 業時数) 数 単位数 位数)	D授業時数	-AN-YURL	140 al 1,700	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した深いできる。	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	<ul> <li>例えば以下について任 評価団体:</li> <li>ww.o-hara.ac.jp/sen</li> <li>時間による算定)</li> <li>総授業時数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち必修計</li> <li>数による算定)</li> <li>総単位数</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うち企業等</li> <li>うちの修り</li> </ul>	意記載  mon/school/umeda_i  peと連携した実験・実 peと連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター  peと連携した演習の単位 位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した する。  な業等と連携した する。  な業等と連携した ないます。  ないまする  ないます。  ないまする  ないまする ないまする ないまする  ないまする  ないまする  ないまする  ないまする	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 業時数) 数 単位数 位数)	D授業時数	-AN-YURL	140 a  0 a  1,700 a  140 a  0 a  140 a  0 a  80 a  80 a  a  a  a  a  a  a  a  a  a  a  a  a	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位			
学校評価  当該学科のホームページ URL  企業等をと連携した による、Bいずれか	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.acjp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業等  うち必修計  の方を重要  の方を重要  の方を重要  の方を重要  の方を重要  の方を重要  の方を重要  の方を重要  の方を重要  の対象  の対象  の対象  の対象  の対象  の対象  の対象  の対	意記載  mon/school/umeda_i  peと連携した実験・実育と連携した演習の授業 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っちで業等と連携した っちで業等と連携した ま等と連携した っちでます。 まずるような。 まずるな。 まずるような。 まずるような。 まずるような。 まずるな。 まずるなるな。 まずるなるなるなるなるなるなるなるなるなるなるななるなるななるななるななるなななるななるなななな	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 (要等数) 実間・実技の 要単位数 (専修学)	D授業時数 D単位数 D単位数	第1号)	140 組 1,700 組 1,700 組 1,700 組 1,700 組 80 組 80 組 組 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	単位時間間 単単位時間間 単単位時間間 単単位 中 単単位 中 単単位 中 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状れか に記入)	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.acjp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業等  うち必修計  (うち企ま  数による算定)  総単位数  うち企業等  うち必修時  での担当する教育等  をの担当する教育等  をの担当ななる者  での担当ななる事  での担当ななる事  での担当ななる事  での担当ななる事  での担当ななる事  のととなる者  のととなる者  のととなる者	意記載  mon/school/umeda_i  peと連携した実験・実習を連携した演習の授業 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した ないますと連携した演習の単位 は位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した ま等と連携した まずと まだ事したものった まだまりたものものもの。	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	時数  実習・実技の  授業時数   数数  実日・実技の  単位数   (専修学社	D授業時数 D単位数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	ディング IR L 第1号) 第2号)	140 周 140 图	単位時間間 単位時時間 単単位時時間 単単位時間間 単単単単単単単単単単単単単単			
学校評価 当該学科のホームの は URL  の本の は できます。 はままままままままままままままままままままままままままままままままままま	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.acjp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち必修則  (うち企ま  うち企業  うち必修則  (うち企ま  でうち企業  うち必修  (うち企ま  でうち企業  うち必修  (うち企ま  でうち企業  でうち企ま  での様と  での移動当繁殖  なのよと  での対しと  での対した  でのが対した  でのがが対した  でのが対した	意記載  mon/school/umeda,i  pe と連携した実験・実 を連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した すと連携した演習の単位 は位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した ないますと は他な  ないまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまずる。 はいまする。 はいまするる。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はい	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 単位数) (専修学) (専修学)	D授業時数 D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号)	140 al 1,700	単位時間間 単単位時時間 単単位時時間 単単位位 単単位位 単単位位 単単位位			
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状れか に記入)	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.acjp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企事  うち企業  うち企事  (うち企ま  うち企事  (うち企ま  うち企業  うち必修  (うち企ま  うち必修  (うち企ま  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意記載  mon/school/umeda,i  pe と連携した実験・実 を連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した すと連携した演習の単位 は位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した ないますと は他な  ないまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまずる。 はいまする。 はいまするる。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はい	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 (専修学社 (専修学社 (専修学社	D授業時数  D 単位数  D 単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	140 单 1,700 单 1,700 单 140 单 80 单 基 基 基 基 4 1 <i>J</i>	単位時時間 単単位時時間 単単単単単単単単位 単単単単単位 大 大 大 大			
学校評価 当該学科のホームのでは、   ・	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.acjp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち必修則  (うち企ま  うち企業  うち必修則  (うち企ま  でうち企業  うち必修  (うち企ま  でうち企業  うち必修  (うち企ま  でうち企業  でうち企ま  での様と  での移動当繁殖  なのよと  での対しと  での対した  でのが対した  でのがが対した  でのが対した	意記載  mon/school/umeda,i  pe と連携した実験・実 を連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した すと連携した演習の単位 は位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した ないますと は他な  ないまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまずる。 はいまする。 はいまするる。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はい	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 (専修学社 (専修学社 (専修学社	D授業時数 D授業時数 D単位数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	140 al 1,700	単位時時間 単単位時時間 単単単単単単単単位 単単単単単位 大 大 大 大			
学校評価 当該学科のホームのでは、   ・	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.acjp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企業  うち企事  うち企業  うち企事  (うち企ま  うち企事  (うち企ま  うち企業  うち必修  (うち企ま  うち必修  (うち企ま  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	意記載  mon/school/umeda,i  pe と連携した実験・実 を連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した すと連携した演習の単位 は位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した ないますと は他な  ないまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまずる。 はいまする。 はいまするる。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はい	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 (専修学社 (専修学社 (専修学社	D授業時数  D 単位数  D 単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	140 单 1,700 单 1,700 单 140 单 80 单 基 基 基 基 4 1 <i>J</i>	単位時時間 間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単			
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等をと連携した況かいに記入)	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.ac.jp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業等 うち必修計  (うち企ま うち必修計  数による算定)  総単位数  うち企業等 うち必修計  なの指しまする第一 での投上をの数 のうち企業等 うち必修する限を ののもとなる第二 の学校教諭等等 にのいたとののもとなる第二 の学校教諭等等 にのいたとなる第二 の学校教諭等等 にのいたとなる。第一等では、 ののととなる。第一等では、 ののもとなる。第一等では、 ののもとなる。第一等では、 ののもとなる。第一等では、 ののもとなる。第一等では、 ののもとなる。第一等では、 ののもことを	意記載  mon/school/umeda,i  pe と連携した実験・実 を連携した演習の授助 要素時数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した すと連携した演習の単位 は位数  うち企業等と連携した うち企業等と連携した する企業等と連携した する企業等と連携した ないますと は他な  ないまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまずる。 はいまする。 はいまするる。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまするる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はい	ryo/course/s  響・実技の授業  素時数  と必修の実験・ と必修の実際の演習の授  ・実技の単位  ながらのである。  などのが多のである。  などのが多のである。  などのが多のである。  ないものでは、  ないまれては、 ないでは、 ないでは	実習・実技の 授業時数 業時数) 数 数 (専修学社 (専修学社 (専修学社	D授業時数  D 単位数  D 単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第4号)	140 单 1,700 单 1,700 单 0 单 80 单 141 <del>1</del> 1 = 141 <del>1</del> 1	単位時時間 間 単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単			
学校評価 当該学科のホームのでは、   ・	<ul><li>※有の場合。</li><li>https://ww</li><li>(A:単位</li><li>(B:単位</li></ul>	例えば以下について任 評価団体:  ww.o-hara.ac.jp/sen  時間による算定)  総授業時数  うち企業等 うち必修計  数による第定)  総単位数  うち企業等 うち必修事  (うち企業等 うち必修事  (うち企ま  (うち企ま )  (うちのと )  (うちのと )  (うなのと )  (なのと	意記載  mon/school/umeda,i  pe と連携した寒酸・実習をと連携した演習の授別 要素時数  っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した演習の単位 位数  っち企業等と連携した演習の単位 位数  っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っち企業等と連携した っちな企業等と連携した っちな企業等と連携した っちな企業等と連携した っちな企業等と連携した っちな企業等と連携した っちな企業等と連携した っちな一般 ないまする ないます	ryo/course/s  響・実技の授業  等・実技の授業  を必修の実験・  でと必修の実験のプラップの授  ・実技の単位  ないをの実験・ ので、 でとのできます。 できるできます。  できるできます。 できるできます。 できるできます。 できるできます。  できるできます。  できるできます。  できるできます。  できるできます。  できるできます。  できるできます。  できるできるできます。  できるできます。  できるできまするできます。  できるできまするできまするできます。  できるできまするできまするできまするできまするできまするできまするできまするでき	実習・実技の 授業時数 教 を 単位数 (専修学社 (専修学社	D授業時数  D単位数  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項  交設置基準第41条第1項	第1号) 第2号) 第3号) 第5号)	140 单 1,700 单 1,700 单 0 单 80 单 141 <del>1</del> 1 = 141 <del>1</del> 1	単位 性性 性性 化			

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ①卒業生の主な就業先である菓子製造・販売施設と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②製菓分野における学修の中心となる実習の技術知識、接客スキル、その他ビジネススキル等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員も各分野ごとに各校共通の組織を設置する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部の上位に教育課程編成委員会を設置し、各委員からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での決議事項は、学校長をはじめとする管理職が次年度以降教育課程編成への導入準備を進める。
- (エ)学園全体で共通する内容は、管轄教育事業部へ報告し、教育事業部にて協議の上、教育課程編成へ反映する。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年10月6日現在

		カ和/牛10	月0口現住
名 前	所 属	任期	種別
松島 俊哉	大阪府洋菓子工業協同組合 理事長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	1
服部 幸宏	パティスリーラヴィルリエ オーナーシェフパティシエ	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	3
重塚 悟	学校法人大原学園 大原医療福祉製菓専門学校梅田校 校 長	_	-
奥村 友幸	学校法人大原学園 大原医療福祉製菓専門学校梅田校 課 長補佐	_	-
野村 智之	学校法人大原学園 大原医療福祉製菓専門学校梅田校	_	_
堀 美紀子	学校法人大原学園 大原医療福祉製菓専門学校梅田校	_	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:40~17:30

第2回 令和6年11月14日 16:20~17:20

第1回 令和7年8月7日 16:40~17:30

- ※令和7年度第2回は、令和7年11月13日予定(本書類作成時の予定)
- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

前年度委員会にて、生産性向上やコスト意識を持たせた指導の必要性についてご助言いただき、実習授業においても原価計算や費用対効果などを体験するクッキー模擬販売を実施した。結果として、材料原価やフードロスなどへ興味を持つ学生も見られ、作り手としての意識が芽生えた。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。) の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①学校・学生住居近郊の製菓または製パン製造・販売施設において、受け入れ指導体制が整っており、実習及び見学の実績のある施設、または、学生の実習受け入れの実績がある施設を選定している。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

製菓実習の授業の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打ち合わせを行い、下記の4点について講義内容の質の向上のために連携している

- ①実習授業内容構築へのサポート
- ②当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③授業方法に関する教員への指導
- ④学生学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名   企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
3.【校外】企業内実店舗運営実務 (4に該当するものを)除く。)		小ノハトリル、休式会社カリ、ハー

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する正確な知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。そのために教職員研修の環境を整える。「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示または本人の意志により、公平に研修等を受講する機会を与えるものとする。校内、校外において学園が企画する研修は以下の通り。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大阪府(関連団体等含む)主催の実践的な知識・指導スキル研修
- ③専門分野に特化した講師を招いた研修会の実施

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 東海パネットーネリンを使ったパネットーネセミナー 連携企業等: カルフォルニアレーズン協会

期間: 令和6年7月3日 対象: 製菓学科教員

内容・レシピ紹介、技術講習・

研修名: 原材料高騰による代替え材料を使った商品の提案 連携企業等: 和歌山県洋菓子協会

期間: 令和6年9月25日 対象: 製菓学科教員

内容 技術講習会

研修名: 食品表示法セミナー 連携企業等:マックス株式会社

期間: 令和7年3月11日 対象: 製菓学科教員

内容 食品表示に関する菓子・パンの具体的事例の説明

## ②指導力の修得・向上のための研修等

留学生の魅力発見!これからの時代を見据えた人材採用 研修名:

セミナー

一般財団法人

連携企業等: 日本洋菓子協会連合会/和

歌山県洋菓子協会

対象: 専門学校教員 期間: 令和7年2月18日

就労資格に関する最新情報の提供、産学官の違いから見

内容 るシナジー効果等

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

一般財団法人

連携企業等: 日本洋菓子協会連合会/和 洋菓子講習会 研修名:

歌山県洋菓子協会

期間: 令和7年10月予定 対象: 製菓学科教員

内容

②指導力の修得・向上のための研修等

連携企業等: 大阪府専修学校各種 学校連合会 人権教育研修会 研修名:

期間: 令和7年12月予定 対象: 専門学校教員

内容 未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成するこ とである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っ ているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果について は、管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニース」に向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③がリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育法が実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。

(5)学生支援	①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6)教育環境	①施設設備は、教育の必要性に対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7)学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われてているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8)財務	①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行われているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9)法令等の遵守	①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10)社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11)国際交流	-

## ※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)学校関係者評価結果の活用状況

退学率低減や教育実績に対するご評価をいただき、更に学生との向き合い方や保護者連携などを充実させるために、各委 員の新人教育や従業員管理の実例をお聞きし、教育現場へとフィードバックしている。また、教育機関として学校生活にお ける「楽しさ」「居場所」の提供、デジタル端末を利用したICT教育及びオンライン授業の拡充、災害有事の事業継続などに ついて、委員のアドバイスを元に整備している。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所属	任期	種別
山田 豊	友紘会総合病院 事務長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
林努	林歯科医院 院長	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	地域住民委員
田川 淳	社会福祉法人寿楽福祉会 業務執行理事	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
服部 幸宏	パティスリーラヴィルリエ オーナーシェフパ ティシエ	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
竹原 庸起子	アミアカルヴァ行政書士法人 代表者 特定行政書士	令和7年4月1日~ 令和9年3月31日(2年)	専門家委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

# (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他( ))

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ 令和7年10月6日 URL:

公表時期:

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの項目 学校が設定する項目 (1)学校の概要、目標及び計画 ①概要 ②教育方針 **③沿革** ①入学定員 ②受入方針 ③進級の認定 ④卒業の認定 ⑤称号の (2)各学科等の教育 付与 ⑥目標とする試験 ⑦主たる試験の合格実績 ⑧卒業生の進路 ①教職員数 ②教職員の専門性 (3)教職員 ①キャリア教育 ②実習・実技等 ③就職支援等 (4)キャリア教育・実践的職業教育 (5)様々な教育活動・教育環境 (6)学生の生活支援 (7)学生納付金・修学支援 ①学校行事 ②課外活動 ①完全担任制 ②就職教育 ①学生納付金 ②奨学金、学費減免等 学園の財務状況公開 <u>(7)子土耐い亚</u> (8)学校の財務

学校関係者評価結果 留学生の受入

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(10)国際連携の状況

(9)学校評<u>価</u>

(11)その他

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

# 授業科目等の概要

	衛生専門課程 製菓学科															
		分類	į				,	授業方法				場	所	教	員	
		選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学	業時	単位数		演習	実験・実習・		校外			企業等との連
						期	数				実 技					携
1	0			衛生法規	製菓・製パン業界の現場で求められる、食に対する安全性・衛生意識に加えて、食の衛生に関する法律を学ぶ。	1 前	30	1	0			0		0		
2	0			公衆衛生学	店舗の衛生環境や自身の健康管理など、店舗経営や実務で必要な衛生管理について学習する。		60	2	0			0			0	
3	0			食品学	食用としての安全性や、食品に含まれる栄養素について学び、食品が人体にもたらす働きについても理解する。		60	2	0			0			0	
4	0			食品衛生学	食品添加物や食中毒、アレルギー物質、食品の保存方法など、お客様に安全な菓子・パンを提供するために必要な衛生知識を学習する。	1	120	4	0			0			0	
5	0			栄養学	食品や食物中の成分・栄養素が、どのように人体に取り入れられ、どのように働くか を学習する。		60	2	0			0			0	
6	0			社会	菓子が現代においていかに生活に密接に関 係しているか理解し、菓子の重要性を学習 する。		30	1	0			0		0		
7	0			製菓理論	製菓衛生師による講義。製菓材料の基礎知 識、加工特性を習得する。	1 通	90	3	0			0		0		
8	0			基礎実習	製菓衛生師による実習。洋菓子・和菓子・ 製パンの基礎知識と技術を習得する。	1 通	180	6			0	0		0	0	
9	0			専門実習	製菓衛生師による実習。洋菓子・製パンの 応用技術を習得する。		300	10			0	0	0		0	
10	0			店舗運営基礎	製菓衛生師による実習。洋菓子の基礎知識 と技術を習得する。	1 後	30	1	0			0		0		
11	0			職業実践概論	製菓衛生師試験の対策と就職活動に向けて の準備を行う。	1 後	30	1	0			0		0		
12	0			応用実習	製菓衛生師による実習。洋菓子・製パンの 応用技術を習得する。	2 通	420	14			0	0	0		0	

13	0		店舗運営応用	社会人として働くうえで必要な、ビジネススキル、PCスキルを身に付ける。	2 通	90	3	0		0		0		
14	0		店舗運営実務	各実習、演習を通じ実社会での即戦力とし ての知識と実践力を習得する。	2 通	210	7		0		0		0	0
15	0		職業実践演習	各種資格取得に向けての知識の習得と演 習。	2 通	210	7		0	0		0		
		合	計	15	科	·目			1920	単位	立 (	単位	時間	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	<del>-</del>
卒業要件:	卒業の認定は、規定する修業年限以上在学し、下記※に定める授業時間数以上履修、かつその該当する所定の授業科目及び単位数を修得し、卒業審査に合格した者について校長が行う。 ※製菓学科は1,700時間	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	必修科目全科目を履修する。 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。また、学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点よ高とし、秀、優、良、可を合格、不可は不合格とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP(Grade-Point)を与える。	1 学期の授業期間	21 週

## (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。